

令和7年度 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業
(Ⅱ 外国人の子供の就学促進事業)
事業内容報告書の概要

都道府県・市区町村・協議会名【東京都八王子】				
令和7年度に実施した取組の内容及び成果と課題				
1. 事業の実施体制				
<pre> graph LR A[外国人児童生徒 保護者] -- "①入学案内送付" --> B[学務課] B -- "②入学の意思表示" --> A B -- "③就学意思が確認 できない者の調査" --> C[出入国在留管理局] C -- "④調査の回答" --> B </pre>				
※出入国在留管理局への調査は、新入学児童だけでなく、在校生で就学意思が確認できない者も含んでいる。				
2. 具体的取組内容 ※取り組んだ実施事項①～⑥について、それぞれ記入すること				
(5) 外国人の子供の就学状況や進学状況に関する調査の実施 市内に住民登録のある外国籍の新入学児童に対し、多言語版での入学案内を送付し、5月に就学の意味確認の案内を送付した。就学の意味を確認できなかった者・転入者に対しては、翌年2月に再度案内の送付を行った。 連絡がなく、就学の意味が確認できない者や就学状況が分からない者については、出入国在留管理局に出入国履歴の照会を行った。照会の結果、海外への出国履歴もなく、八王子市に居住しながら就学先が不明となっている者がいた際は、就学先についての状況確認を実施した。				
3. 成果と課題 ※取り組んだ実施事項①～⑥について、それぞれ記入すること				
(5) 外国人の子供の就学状況や進学状況に関する調査の実施 多言語翻訳の入学案内を送付し、外国人の新入学児童も市立小学校に入学できる旨を周知することにより、就学意思のある新入学児童に対し漏れなく受入れをすることができた。就学の意味が確認できていない者や就学状況が分からない者についても、出入国在留管理局に出入国履歴の照会を行ったことで、外国籍児童生徒の就学状況について把握することができた。 課題としては、市内在住の外国籍家庭の母語が多言語化しているため、複数言語の訳文を作成し、案内に同封しても内容を理解してもらえないことが挙げられる。レイアウトの見直しや、やさしい日本語の利用により、誰もが分かりやすい案内について検討していく必要がある。				
	3～6歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳以上 (過年齢)
本事業で対応した子供の数	85人	22人	17人	人
4. その他(今後の取組等)				

※ 枠は適宜広げること。(複数ページになっても差し支えない。) 成果物等があれば別途提出すること。

※ 事業内容報告書の概要は、文部科学省ホームページで公開する。